

# Web Usability & Accessibility

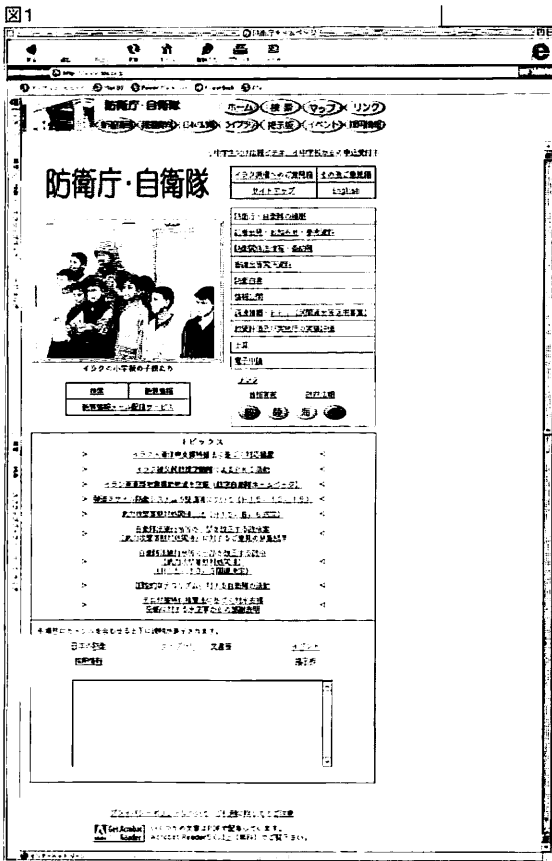
## 36 防衛庁・自衛隊

http://www.jda.go.jp/

### 前回評価からあまり進化せず 基本的な部分にまず配慮すべき

自衛隊のイラク派遣問題で、ここ半年間でアクセス数も急増したであろう「防衛庁・自衛隊」サイト。現地での復興支援活動が着々と進むなか、その動向や成果がWebサイトを通じて速やかに公表されているとは言い難い。濱田・小川両氏が、ユーザビリティ&アクセシビリティの進捗状況を確認するため、再びこのサイトに乗り込んだ。

### Usability (解説/小川祥子)



前回の評価(2001年12月号)から約二年。その間世界を取り巻く情勢は残念ながら平和とは程遠い状況へと変化し、日本の自衛隊への関心は高まっています。

リニューアルした防衛庁・自衛隊サイトは、我々国民の要望に応じてくれるような使いやすいサイトになったでしょうか。

#### 【フレームは本当に必要か】

防衛庁のサイトはフレームを使用して作成されています(図1)。フレーム未対応のブラウザは少数派にはなりませんが、ユーザビリティやアクセシビリティのガイドラインや専門家は、多くの場合フレームの使用には否定的です。ユーザビリティ向上に有効ならば問題ないのですが、ここは成功して

いない典型的な例です。

上部に目次の大項目をフレームにする手法をとっていますが、トップページの目次項目はこれが重複しています。

一方、国民が知りたい情報がトップページでは何も表示されていないのは考えものです。トピックスがページ下部に掲載されていますが、他のメディアで連日報道されているのとは裏腹に、素っ気ない印象は免れません。Webというメディアの特性である即時性を生かして、トップページには最新かつ重要な情報を随時掲載すべきです。

#### 【タイトル・URLの弊害】

全ページにわたって同じタイトルが表示されています(図2)。これらはお気に入りやブックマークに登録した場合、また音声ブラウザで読み上げた際、常に「防衛庁ホームページ」とだけ表示されるためにページの内容がわかりません。

URLが変わらない点も問題です。これだと外部から該当ページにリンクしたくても、フレーム内部のページにリンクするしか方法がないからです。検索エンジンから訪れたユーザーは内部ページを直接見ることになります。Webサイトを訪れるユーザーはトップページからとは限りませんし、さらに印刷する場合、ブラウザの設定でフレーム対応の印刷を指示しなくては正しく印刷できません。

図2

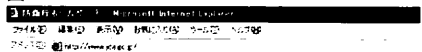


図3

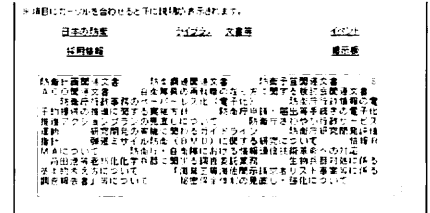
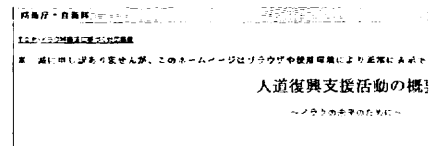


図4



#### 【無意味なJavaScript】

トップページの「項目にカーソルを合わせると下に説明が表示されます」という箇所は、JavaScriptで表示させています(図3)。しかし、下部に表示される文字列はスペースのために改行され非常に見づらく、カーソルを常に合わせていなければならないというのも不親切です。

また「その他ご意見箱」をクリックするとメールソフトが立ち上がりますが、この表記ではページであると誤認します。ここはメールアドレスにすべきでしょう。

トップページ以外の文字のフォントにMS明朝を使用しています。これではブラウザやPCによっては正常に表示されません。こうしたフォントの指定は避けるべきです(図4)。

評価 (満点は5つ星)	
サイトの目的が伝わること	★★
学習しやすさ	★★
効率性	★★
記憶しやすさ	★★★
エラーを少なく	★★
満足を与える	★★
<b>総合評価</b>	<b>★★</b>

フォントの指定やフレームなど基本的な点を見直すだけで、かなりユーザビリティは向上できると思います。



アクセシビリティ分析担当  
**濱田英雄**  
(株)ユーディット 主任研究員  
hamada@udit.jp



ユーザビリティ分析担当  
**小川祥子**  
(株)ユーディット webクリエイター  
shoko@udit.jp

(株)ユーディット  
URL <http://www.udit.jp>  
「情報のユニバーサルデザイン」を目指し、アクセシブルなWebの制作やコンサルティング、高齢者や障害者も利用できるユニバーサルデザインの情報環境、製品の調査などを行っている。

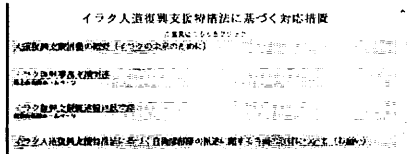
## Accessibility (解説/濱田英雄)

現在注目度No.1の防衛庁サイトですが、二年前に比べて少しはアクセシブルになったのでしょうか。

### 【文字の見やすさ】(図5)

前回調査時の迷彩柄よりは多少読みやすくなっていますが、ブルーに柄の入った背景にブルーのリンク文字は見にくいままです。配色は認識しやすくする必要があります。

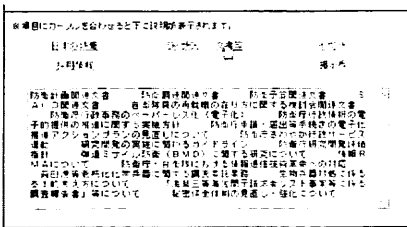
図5



### 【情報提供のしかた】(図6)

トップページの中程に、JavaScriptによってマウスポインターが当たると下の枠に説明がでるとい仕組みがありますが、音声ブラウザでは正しく情報が伝わりません。また、文章の区切りのスペースや行間の狭さもあって、非常に読みにくくなっています。

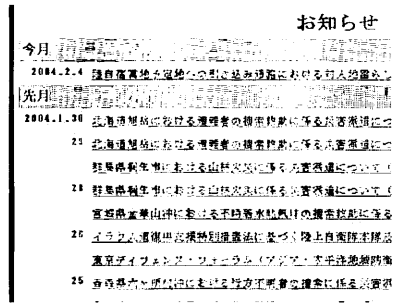
図6



### 【音声に配慮した情報提供】(図7)

日付の2004.2.4を音声ブラウザで読むと、「にせんよんてんによん」と読まれます。ここは年月日であると何とか推測できるでしょう。問題は、その下にある日にちの部分です。これでは文章の前に数字が読み上げられるだけで、日にちであることが理解できません。23日のように「日」をつける必要があります。

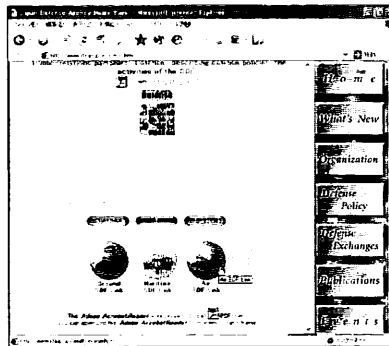
図7



### 【ALT属性の必要性】(図8)

これは英語のトップページですが、下部にある陸海空の丸いアイコンにしかALT属性が入っていません。それもアイコン下にある説明と同じもので、音声ブラウザでは二度読みされます。アメリカではリハビリテーション法508条などアクセシビリティに関する法律があるだけに、まさか英語版にALT属性がついてないとは思いませんでした。

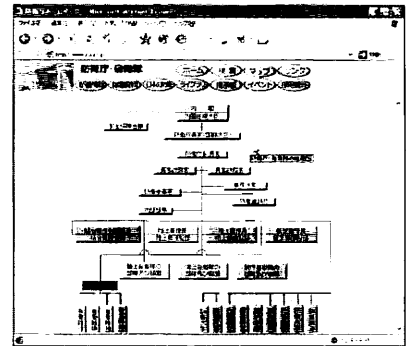
図8



### 【イメージマップのALT属性】(図9)

この組織図のALT属性にはタイトルと同じ「防衛庁・自衛隊の組織図」としか入っていません。実はイメージマップになっていて、かなりの項目にリンクが貼られています。しかし、ALT属性がついていないためファイル名が読み上げられてもどこへのリンクかわかりません。組織の関係を文章で表現するのはむずかしいとは思いますが、構造だけでも知らせておくべきでしょう。

図8



### 【配慮事項】

本サイトの注意事項には、以下のような配慮をしているという情報があります。これは評価して良いでしょう。

- 情報サイズが100kバイトを大きく越える場合、サイズを記載します。
- 一部情報をPDFで提供します。PDFのみで提供する場合、リンク先名の右に(PDF)と記載します。
- 法律等を原文どおり表示するために、UNIXで表示されない文字を使うことがあります(例:①②③、I II III等)。この場合ページの先頭に「(特殊文字使用)」をつけることとします。

### ——— 評価 (満点は5つ星) ———

画像にはALT属性をつけること ★★

リンクボタンになっている画像のすべてにALT属性を使ってリンク先を明確にすること ★★

日本語のページでは外国語の乱用はせず、誰にでもわかるように配慮すること ★★★

色によって伝えられる情報は、色がなくても情報が伝わるようにすること ★★★

HEADにつける<TITLE>は内容がわかるように適切なタイトルをつけること ★★★

レイアウトのテーブルは、情報が適切に音声ブラウザで読み上げられること ★★★

### 総合評価 ★★★

残念ながら、アクセシビリティへの配慮は今一歩というところでしょうか。